

令和6年3月21日

関係各位

みどりの学び舎
世田谷区立上北沢小学校
校長 三浦 健仁

令和5年度自己評価報告書及び改善方策

前年度の改善方策について実行した改善結果

＜自己評価報告書を作成するに当たって＞

- ・学校評価アンケートの項目にそって、「児童のアンケート調査」「保護者のアンケート調査」「地域のアンケート調査」「教職員の自己評価」から、次年度の改善点の方向性を示しています。
- ・「とても思う」「思う」を肯定的な評価として、分析や考察に活用しています。
- ・児童調査アンケートは、毎年5・6年児童を対象としています。

(1) 児童アンケートの評価結果 ○は肯定的評価が高いもの ●は低いもの

- | |
|---|
| <p>○授業では考えたことを話し合ったり発表しあったりする機会がある。(95.8%)</p> <p>○先生は、課題(めあて)について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中でとっている。(91.5%)</p> <p>○学校生活は楽しい。(89.4%)</p> <p>●自分の生き方や将来のことについて、考える授業がある。(59.9%)</p> <p>●区立中学校に関する情報が提供されている。(48.6%)</p> <p>●すすんで読書している。(49.3%)</p> |
|---|

＜考察と改善策＞

○授業について肯定的評価が高い数値を示している。丁寧な指導は普段の教師の努力の成果と考える。「授業では考えたことを話し合ったり発表しあったりする機会がある」「先生は、課題(めあて)について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中でとっている。」は、新学習指導要領への理解を深め、「せたがや探究的な学び」の展開がされていることを示している。

●「自分の生き方や将来のことについて、考える授業がある。」については、キャリア教育に関する授業が実施される前にアンケート実施されたことが要因として考えられる。コロナ禍以来中止となっていた学び舎での交流事業は、今年度生徒会・児童会によるオンライン交流となった。今後は訪問ができることで改善したい。読書は現在行っている朝読書・年3回の読書週間や読み聞かせボランティア「おはなしたんぼぽ」による読み聞かせ・多読賞などの取り組みに加え、他の有効な手立てを考えていく。

(2) 保護者のアンケートの評価結果○は肯定的評価が高いもの ●は低いもの

- 学校行事は子供にとって楽しい。(96.1%)
- 学校行事は子供にとって達成感がある。(94.1%)
- 本校は、学校公開や保護者会などで、児童の様子が分かる。(92.8%)
- 子供は、家庭で自主的に学習している。(59.8%)
- 私は、学校行事、PTAや地域主催の行事にすすんで協力している。(55.6%)
- 「学び舎」の区立(幼稚園)中学校について情報が提供されている。(40.5%)

<考察と改善策>

○学校行事について高い肯定的評価が出ているのは、学校を信頼していただいている証と嬉しく感じる。特に今年度はコロナ禍以降初めて、制限なしでの行事の参観や学校公開、保護者会をおこなったことにより、実際の様子をご覧いただけたことが大きな要因と考える。

●PTAの参加については任意となったことが影響していると思われる。学校行事やPTA活動、地域行事への参加について今後も役員と模索していく。子供の家庭での自主学習であるが、タブレット端末を利用した自主学習の方法など、保護者会などを通して周知していく。学び舎の情報提供であるが、今年度は周知が不足しているため、今後も広報していく。

(3) 地域アンケートの評価結果 ○は肯定的評価が高いもの ●は低いもの

- 学校行事の内容は充実している。(100%)
- 学校は、安全性を高めようと地域と協力している。(100%)
- 地域の人や施設を教育活動に活かしている。(93.8%)
- 通学している子供たちは交通ルールなどを守っている。(93.8%)
- 学校からのお知らせ(学校だより)などにより、学校の様子が分かる。(76.2%)
- 学校協議会や合同学校協議会が役割を果たしている。(68.8%)

<考察と改善策>

○学校行事の内容の充実については、地域の方々にも行事をご参観いただいたことが大きな要因である。また、交通安全教室や地域清掃など、地域の方々の力をお借りして取り組んだことが、「安全性高めようと地域と協力している」「地域の人や施設を教育活動に活かす」「交通ルールなどを守る」という点での評価につながったものとする。通学時のマナー、安全面については引き続き指導していく。

●本校はHPの学校日記の毎日更新を行っているが、学校だよりについても、更に充実していく必要があると感じる。また学校協議会(学校運営委員会)の報告も年6回発行しているが、更に工夫をしていく。

(4) 教職員アンケートの評価結果 ○は肯定的評価が高いもの ●は低いもの

- 学習指導要領に従い、世田谷教育要領に基づき、教育課程を編成している（88.9%）
- 保護者や地域からの相談等に、丁寧に対応している（81.5%）
- 校務パソコンが適切に活用されている（81.5%）
- 「相手意識をもったあいさつや返事ができて、自分の未来を考えることができる子どもの育成」が達成されている（44.4%）
- 「学び舎」内の組織を効率的に運営している。（55.6%）
- 学校運営委員会の活動について十分な情報が提供されている（55.6%）

<考察と改善策>

○学習指導要領だけでなく区の教育施策に基づいて教育課程を編成することは、区立学校として重要なことである。また、児童に適切な指導を行っていくとともに、保護者や地域の方と連携していくことが、児童一人一人の成長を促すうえで大切なことである。引き続き教育課程を厳正に組み、保護者や地域の方と連携して教育活動を展開する。

校務パソコンの活用は、教員の働き方改革を進めるうえで重要な位置付けとなる。今後もより効果的な活用方法を探っていく。

●挨拶や返事に関して、年間を通して指導してきた。年度当初に比べると挨拶をする児童は増えてきているが、十分に達成できているとはまだまだ言えない状況である。次年度は重点的にあいさつについて取り組んでいく。「学び舎」での教職員の交流が、コロナ禍以降、今年度初めて行われた。次年度は学び舎での連携について、より具体的に取り組んでいく。また、学校運営委員会の役割・活動について、しっかりと周知していく。

(5) 前年度の改善方策について実行した改善結果

○あいさつについて

挨拶については「レベル5のあいさつ」を生活指導部で指導したり、6年生のあいさつ隊に校門に立たせたりしたことにより、

「挨拶や返事を自分の方から大きな声でしている。」64.1%（R4）→71.2%（R5）に増加した。

○学び舎に関する項目

コロナ禍による交流中止から、オンラインによる生徒会・児童会の交流を実施したり、中学生の職場体験を受け入れたりしたことにより、

「学び舎の中学校に行ったり、中学生が来たりする機会がある。」18.3%（R4）→57.0%（R5）

「『学び舎』の区立（幼稚園）中学校について情報が提供されている。」36.1%（R4）→40.5%（R5）

「学び舎の活動について、情報が提供されている」56.3%（R4）→80.3%（R5）にそれぞれ増加した。